



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年2月12日

上場会社名 株式会社京都ホテル 上場取引所 東
コード番号 9723 URL <https://www.kyotohotel.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福永 法弘
問合せ先責任者(役職名) 取締役経理部長 (氏名) 井手 章 (TEL) 075(211)5111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	7,090	2.3	895	1.9	784	1.6	849	11.8
2024年3月期第3四半期	6,933	29.1	878	—	772	—	760	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	67.93	—
2024年3月期第3四半期	60.50	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	16,837	2,738	16.3
2024年3月期	16,451	1,989	12.1

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 2,738百万円 2024年3月期 1,989百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	5.00	5.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください

3. 2025年3月期の業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300	1.8	880	△7.7	600	△25.7	650	△30.5	50.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(2025年2月12日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年3月期3Q	12,065,400株	2024年3月期	12,065,400株
2025年3月期3Q	242株	2024年3月期	242株
2025年3月期3Q	12,065,158株	2024年3月期3Q	12,065,158株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況
配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	40,000.00	40,000.00
2025年3月期	—	0.00	—		
2025年3月期(予想)				40,000.00	40,000.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、社会経済活動の正常化や個人消費の回復などにより、緩やかな景気回復が続いております。一方、地政学リスクの長期化、株価や為替の急激な変動、世界経済や米国新政権の不確実性等により、先行きは不透明な状況が続いております。

京都のホテル業界におきましては、円安や規制緩和などによる訪日外国人観光客の増加や国内旅行の活性化により、回復傾向にあります。

このような状況下、当社におきましては、人員不足による一部営業調整を継続しながらも、国内観光およびインバウンドの需要を的確に捉え、宿泊部門を中心に売上を拡大させました。また、物価やエネルギーの高騰によるコスト上昇に伴う一部販売価格の見直しなど、売上・利益の最大化に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高7,090百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益895百万円(前年同期比1.9%増)、経常利益784百万円(前年同期比1.6%増)、四半期純利益は849百万円(前年同期比11.8%増)となりました。

ホテルの部門別営業概況は次のとおりです。

(宿泊部門)

ホテルオークラ京都では、団体予約は微増にとどまったものの、国内外問わずインターネット予約による個人旅行が引き続き順調に推移しており、宿泊売上全体を押し上げております。

からすま京都ホテルでも、円安の影響とインターネット予約による個人客の急増により売上が好調に推移しております。

この結果、宿泊部門の売上高は3,203百万円(前年同期比12.8%増)となりました。

(宴会部門)

ホテルオークラ京都は、好調だった前年に比べ需要が一段落したことや、市内競合他社との競争激化、婚礼部門の件数・客数の減少などにより、売上高は減少いたしました。

一方からすま京都ホテルでは、地道な単価アップとインターネットによる問合せの増加、コロナ禍前の恒例案件の復活により売上は堅調に推移しております。

この結果、宴会部門の売上高は1,870百万円(前年同期比7.7%減)となりました。

(レストラン部門)

ホテルオークラ京都では、営業制限が続く中、前半は苦戦をするも、後半は売り上げを順調に伸ばし、特に11月からブッフェレストラン「トップラウンジオリゾンテ」の土日祝ディナー営業再開などにより、売上は微減にとどまりました。

からすま京都ホテルでは、中国料理レストランで特にディナー営業の集客が厳しく、バーアンカーでも宣伝不足による客数減により、売上は減少しております。

この結果、レストラン部門の売上高は1,606百万円(前年同期比3.7%減)となりました。

(その他部門)

ホテルオークラ京都の安定したテナント賃貸料収入やフィットネスクラブの新規会員増加などにより、売上は引き続き堅調に推移しております。

この結果、その他部門の売上高は409百万円(前年同期比3.0%増)となりました。

部門別の売上高及び構成比等は、以下のとおりです。

区分	当第3四半期累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)		対前年同四半期 増減率(%)
	金額(千円)	構成比(%)	
宿泊部門	3,203,674	45.2	12.8
宴会部門	1,870,266	26.4	△7.7
レストラン部門	1,606,593	22.6	△3.7
その他部門	409,600	5.8	3.0
合計	7,090,136	100.0	2.3

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ385百万円増加し、16,837百万円となりました。

負債は、前事業年度末に比べ363百万円減少し、14,098百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ749百万円増加し、2,738百万円となり、自己資本比率は16.3%となりました。

なお、当社は一定の業績回復を見込んでおり、当事業年度におきましては、必要不可欠なメンテナンス工事を含む設備投資を計画的に検討、実施することといたしました。また、金融機関との良好な関係のもと、資金確保を確実に実行いたします。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2024年5月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。なお、詳細につきましては、本日(2025年2月12日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,973,447	3,695,564
売掛金	592,794	567,095
原材料及び貯蔵品	68,765	100,206
前払費用	43,953	29,874
その他	20,199	13,554
貸倒引当金	△210	△148
流動資産合計	3,698,950	4,406,147
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	7,276,532	6,871,422
構築物(純額)	14,064	13,077
機械装置及び運搬具(純額)	88,782	75,631
器具及び備品(純額)	161,841	147,452
土地	4,890,314	4,889,637
リース資産(純額)	54,655	74,236
有形固定資産合計	12,486,190	12,071,458
無形固定資産		
ソフトウェア	6,883	4,474
リース資産	5,187	2,416
電話加入権	4,197	4,197
商標権	4	-
無形固定資産合計	16,272	11,088
投資その他の資産		
投資有価証券	5,314	5,314
長期前払費用	4,288	3,614
前払年金費用	39,556	68,026
差入保証金	52,334	52,032
繰延税金資産	134,293	205,248
その他	14,630	14,630
投資その他の資産合計	250,418	348,866
固定資産合計	12,752,881	12,431,413
資産合計	16,451,832	16,837,560

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	142,489	224,823
1年内償還予定の社債	2,000,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	10,616,000	10,392,000
リース債務	33,177	21,819
未払金	722,082	484,526
未払費用	93,162	130,923
未払法人税等	4,990	3,742
前受金	61,730	93,759
預り金	53,478	58,854
前受収益	45,513	61,635
賞与引当金	71,520	-
その他	41,340	37,751
流動負債合計	13,885,484	13,509,837
固定負債		
リース債務	41,452	64,331
長期未払金	23,522	17,647
長期預り保証金	512,284	507,156
固定負債合計	577,259	589,135
負債合計	14,462,744	14,098,972
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金		
資本準備金	25,000	25,000
その他資本剰余金	929,635	929,635
資本剰余金合計	954,635	954,635
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	934,632	1,684,133
利益剰余金合計	934,632	1,684,133
自己株式	△180	△180
株主資本合計	1,989,088	2,738,588
純資産合計	1,989,088	2,738,588
負債純資産合計	16,451,832	16,837,560

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	6,933,270	7,090,136
売上原価	1,086,793	1,024,028
売上総利益	5,846,476	6,066,107
販売費及び一般管理費	4,968,283	5,170,790
営業利益	878,192	895,317
営業外収益		
受取利息	6	146
利子補給金	7,534	7,534
受取手数料	2,439	2,259
基地局設置手数料	2,509	2,509
受取保険金	3,860	1,984
その他	6,367	6,215
営業外収益合計	22,717	20,649
営業外費用		
支払利息	120,758	122,898
支払手数料	7,228	7,228
その他	669	1,320
営業外費用合計	128,655	131,446
経常利益	772,254	784,520
特別損失		
固定資産除却損	3,436	1,894
特別損失合計	3,436	1,894
税引前四半期純利益	768,818	782,625
法人税、住民税及び事業税	3,743	3,754
法人税等調整額	4,985	△70,954
法人税等合計	8,729	△67,200
四半期純利益	760,089	849,825

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

当社は、内外顧客の宿泊、宴会、レストラン等を中心とするホテル経営及びホテル付随業務を事業内容としております。経営資源の配分の決定及び業績評価は当社全体で行っていること等から判断して、報告セグメントが単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

当社は、内外顧客の宿泊、宴会、レストラン等を中心とするホテル経営及びホテル付随業務を事業内容としております。経営資源の配分の決定及び業績評価は当社全体で行っていること等から判断して、報告セグメントが単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	529,007千円	521,866千円